

昨年までは連携強化、今年は情報発信重視で診断士の見える化を

会長 津田 均

新年あけまして、おめでとうございます。

アベノミクス、消費税増税、年末選挙とあわただしい1年の中で、舞鶴若狭自



動車道が開通し、北陸新幹線開業するという県外からの新しいアクセスに期待できる年を迎えました。我々の協会も一般社団法人化して4年目に入ります。

昨年は、当協会初めての女性をはじめ、4人が入会しました（また近々企業内診断士から独立を予定する方も2人います）。協会としてのパワーを高めることができました。新規独立開業を目指す人が増えることを期待しています。

昨年は新たな自主的な活動として、毎月例会の実施、国の受託事業「創業スクール」を開催しました。例会には毎月多くの会員が参加し、「創業スクール」では企業内診断士を含め17名ものメンバーが講師を務めました。スクールでは我々が行う幅広い支援の必要性を実感し、今後の継続的に実施して行くべきと考えています。

これまで行ってきた県内金融機関との連携に次いで、受託事業の中心である再生計画、改善計画作成支援を目的に、TKC税理士会との交流を深め、北陸銀行とも計画作成のための合意をしました。これらはすでに成果となり、受託数が増加

しています。さらに日本弁理士会（北陸支部）との覚書を締結し相互の例会交流を図ることに合意しました。

このような状況下で新たな年を迎えたわけですね。

今年からは情報発信と診断士の見える化に取り組むたいと考えています。いろいろな場面で我々の支援を必要としている現場（企業等）があります。そこに積極的な情報発信によって診断士の認知を高める活動を行うこととなります。また同時に現場、現場でタイミング良く声を掛けられるように、我々が準備体制を整備しておくことが不可欠です。どのような分野でどんな調査研究が行われているのか、勉強会でのテーマは何なのか、誰（どのくらいの人数）が携わっているのか、どこへ連絡すれば良いのかなどということです。トップセールスも含めて積極的な対外営業活動の展開と同時に、昨年からは準備を始めているホームページ等を通じたPR活動を進めていく予定です。もちろんこれらの活動には、診断士（協会）としてスキル、対応力（質、量）向上に努めていくことが大前提となります。

毎月例会の継続的開催により、結束力を高め、連携力を強化し、見える化が図られることで、多くの支援（受託）につなげて行きたいと思います。皆さんの、支援の担い手として、“見られる”診断士として、個々の活動での成果と協会活動への参加に期待しています。

委員会活動報告

◆ 研修研究委員会

副会長・委員長 峠岡 伸行



今年度は、中小企業診断士同士の相互研鑽と会員交流の拡大を図るため、毎月1回の例会の開催に取り組んでいます。

7月から始まった例会も、まず協会として取り組んだ事業や現在取り組んでいる調査研究活動をテーマとして取り上げ、1時間30分の勉強会と食事を交えて情報交換会を実施し、毎回20名程の会員の皆さんに参加いただいています。

11月例会には石川県の診断士協会メンバーにも参加いただき、地域連携委員会の担当で実施した12月オープン例会では、弁理士や税理士、司法書士の方々にもご参加いただき交流を図ったところです。

今後も、毎月いろいろなテーマで情報交換の場を設けてまいりますので、会員の皆様の例会へのご参加をお待ちしております。

また、県外視察研修として、10月には、東北の震災被災地や観光、農業、まちづくりを見学する宮城・山形の視察会を実施し、会員8名の参加をいただきました。

中小企業診断シンポジウムの開催に併せ11月には、シンポジウム参加に合わせ築地や代官山、神楽坂などの商業や街づくりの事例視察会も実施し10名が参加、上村前会長にも同行いただきラゾーナ川崎の三国屋善五郎の店舗見学も行いました。(これら視察の様子は、協会ホームページで紹介させていただいています)

この2月には、福井県経営者協会との共催で海外視察研修としてタイ・バンコク周辺に進出する

福井県企業を訪問する視察会を実施する予定で、8名の会員の参加申込みをいただいています。

今後も、国内外問わず、会員の皆様の関心のある地域や施設、企業の視察会を企画してまいりたいと考えておりますので、ご意見、ご提案をいただきますようお願いいたします。

研修委員会では、例会をはじめ相互研鑽の場づくりに今後も取り組んでまいります。先進商業施設、工場など皆様の見学体験やいろいろな経験の感想なども共有できる場としてまいりたいと考えておりますので、今後ともご協力、ご参加賜りますようよろしくお願いいたします。

◆ 計画策定PT委員会

委員長 坪川 光弘



計画策定PT委員会では、本年度におきましては、下記の内容で委員会を開催しております。

1. 例会

①「福井県中小企業再生支援協議会事業と今後の取組みについて」

②「認定支援機関による経営改善計画策定支援事業と今後の取組みについて」

③「福邦銀行の経営改善計画策定スキーム案」

日時：平成26年7月30日(水)18:00~19:30

会場：福井商工会議所2F 会議室D

講師：福井県中小企業再生支援協議会

プロジェクトマネージャー 大蔵正隆氏

当協会 副会長 竹川 充氏

平成26年度計画策定PT委員長

坪川光弘

参加者 17名

交流会 11名 (新海寿司)

内容：

(1)福井県中小企業再生支援協議会プロジェクト

マネージャー 大蔵正隆氏より

- ①中小企業再生支援協議会事業を巡る現状
- ②平成 26 年度協議会事業方針
- ③協議会活動の現状について(協議会対応件数、センター事業件数等)

(2)協会竹川副会長

- ①経営改善センター手続きの流れについて

(3)計画策定 PT 委員長 坪川委員長

- ①福邦銀行の経営改善計画策定スキーム (案)の説明

経営改善計画策定スキーム(案)



改善センター事業活用 費用総額300千円

1. 経営改善計画策定(診断士協会連携)

(1)費用負担内訳

国補助金200千円+事業者負担100千円(銀行補助30千)実質負担70千円

(2)計画策定分組

- ① 事業DD 計画策定(モニタリング含む) 診断士協会 300千円 ※モニタリング年1回(決算総括)

経営改善計画策定スキーム(案)



改善センター事業活用 費用総額300千円

1. 経営改善計画策定(顧問税理士連携)

(1)費用負担内訳

国補助金200千円+事業者負担100千円(銀行補助30千)実質負担70千円

(2)計画策定分組

- ① 事業DD 診断士協会200千円
- ② 財務、計画策定税理士100千円(※モニタリング含む)
- 合計 300千円

2. 認定支援機関による計画策定スキーム説明会

日時:平成 26 年 9 月 10 日(水)18:30~20:30

会場:福井商工会議所 2F 会議室A

講師:当協会 副会長 竹川充氏

当協会 計画策定PT委員長 坪川光弘

3. TKC北陸会福井県支部との計画策定連携に向けた意見交換会

日時:平成 26 年 11 月 27 日(木)18:00~20:00

会場:TKC SCGセンター

4. 平成 26 年 12 月末現在、認定支援機関による計画策定受付件数は 20 件となっております。

近時では、TKC税理士と診断士との連携取組事案も報告されております。TKC北陸会福井県支部の方からも、今年度の連携取組について打合せをしたいとのご依頼もあることから、積極的に推進したいと考えております。

◆ 資格更新研修委員会

委員長 吉村 征浩



平成 26 年度の理論政策更新研修は、平成 26 年 9 月 6 日(土)9:00~13:00 に、福井県産業情報センタービルマルチホールにて、92 名の受講者のもと開催されました。

【研修内容】

1. 「福井県の中小企業振興施策」

福井県産業労働部 技幹 勝木 一雄 氏
… 技術分野を中心に、中小企業振興・支援策についての解説。

2. 「『脱常識』から商機をつかむモノづくり戦略」

中山商事(株) 代表取締役 中山 裕一郎 氏
… 平成 24 年新事業フロンティア大賞を受賞した「きょうりゅう将棋」を開発した当社の、経営革新や事業承継に関する講義。

3. 「高品質で多店舗展開に挑戦する株式会社プレジューールの戦略」

(株)プレジューール 代表取締役 織田 充 氏
… 高品質・高単価を維持しつつ多店舗展開に挑戦するパン製造小売業の当社の、現状分析や戦略・戦術についての講義。

4. 「IPOを目指す中小企業の現状と傾向」

(株)ジャフコ 中部支社 支社長 藤田 豪 氏
… 日本最大級のベンチャーキャピタルである当社の投資実績等をもとに、今、高い成長を実現している中小企業の現状と傾向についての講義。

【受講者アンケートより】

平成21年度より9月開催、午前中開催にし、6年が経過しましたが、98.8%の方から開催時期、時間共に「適当である」との回答がありました。また、会場につきましては89.9%の方から「適当である」旨の回答がありましたが、一方で、「できれば福井市内がよい」「遠い」との意見もありました。

また、前年までWEB関連で成功した経営者の講義が続き、アンケートで「WEB関連以外の経営者の話も聞きたい」との意見が散見されたため、今回はWEB関連以外の分野で活躍されている経営者の方々に講義をして頂きましたが、8割以上の受講者より「大変良い」「良い」という感想がありました。頂いた意見を参考に、今後も充実した研修となるよう、改善していきたいと思いません。

◆ 調査・研究委員会

副会長・委員長 竹川 充



皆様、新年あけましておめでとうございます。私は今年年男です。そのため、タイトルのとおり私自身も飛躍の年にしたいところですが、暦を見ても正月のおみくじをひいても

「安定の一年」をすすめられることが多く、少々悩んでいるところです。

当協会も新体制になり半年が経過し、数々の新たな事業にも取り組みました。経営改善支援センター事業や農協診断、介護ビジネス、創業スクールなど、記憶に新しいところです。また、企業診断ニュースへの寄稿や経営診断シンポジウムでの発表など本部事業にも積極的に参加しました。今年度も本部の調査研究事業を受託しています。

さらには、毎月例会を行い、会員の皆様方との関係をより深めることができました。年末にはオープン例会も開催し、土業の枠を超えた交流を深められたことはとても有意義なことであったと思います。他土業との連携も深めました。TKC福井県支部や弁理士会との連携は皆様方にお伝えしたところです。

さて、今年は当協会にとってどんな一年となるのでしょうか。そのカギは会員の皆様一人ひとりにあると思います。そして会員全員が、総会や新年会だけでなく、例会（研修会）や事業にも参加していただけるような協会をつくらしていきたいのです。事業への参加だけでなくホームページへのレポートの寄稿など全員で情報発信・共有できる仕組みを構築したいと考えます。そのためには、会員一人ひとりのスキルアップや知識の研鑽、時代の変化を捉える見識が求められることは言うまでもありません。

また、調査研究委員会としては、診断士としての見識を大いに高めるとともにアウトプット力の向上を目指して参ります。本部事業への参加だけでなく、自主事業として確立できる委員会のあり方を模索したいと考えています。企業内診断士の方々にもどんどん参加していただきたいと思いません。

いろいろと申し上げましたが、今年は昨年打ち上げたロケットの二段ロケットに点火する年になります。会員の皆様方にはいろいろとご無理をお願いすることもあるかとは思いますが、今年一年どうぞよろしく願いいたします。

新入会員紹介



福井商工会議所
岩本 拓馬

元々多くの先輩が診断士として活躍している職場環境で、それなら自分も！と一念発起。平成25年に1次試験・2次試験

共に合格し、この度皆様の仲間入りをさせて頂く事になりました。これまでは割とノリ&勢いで業務を行ってきた部分もあり、「岩もっちゃんは難しい事を言わないから良いね」と言ってくれる社長の中には「実は岩本難しいことが分からないのでは」と不安に思っている方もいた事でしょう。いやいや社長！易しく伝えるのが技術なのです。脳内には診断士の豊富な知識とスキルが…とはすぐにはいきませんので、これまで通り職場の先輩診断士を頼りにしつつ、今後は協会で培うネットワークも駆使していきますので皆様よろしくお願ひします。



上條 辰徳

診断士1次・2次試験ともに2012年合格、東京で実務補習を受け、2013年4月登録致しました。転勤のため、大阪府中小企業診断協会に入会し、その後2014

年1月、妻の実家のある福井に転職・移住と同時に、福井県協会に転籍した企業内診断士です。これまでの仕事は、ネット求人広告営業を9年弱、商社で企業人事を1年です。営業戦略・広告コンセプト立案、広告実作等は実務に即して対応可能です。今後は、人事領域の知見をさらに深め、診断士としても福井、北陸に貢献できるよう高みを目指します。趣味は、ストリートダンス(曲はJazz、Funk等)、飲酒(ビール、焼酎、日本酒等)、読書(ビジネス書等)、週末2人の娘と遊ぶことです。よろしくお願ひ致します。



株式会社福邦銀行
定友 輝

この度、新たに福井県中小企業診断士協会に入会させて頂きました。定友輝(さだともあきら)と申します。勝山市在住、36歳です。

勤務先は福邦銀行で現在は営業統括部法人営業グループに所属し主に坂井・奥越地区の新規法人開拓を行っております。

私が中小企業診断士を目指した理由として「共存共栄」が挙げられます。大学卒業後銀行の営業担当として中小企業の方々と接してきたなかで、共に発展し成長していく為に考え行動してきたつもりです。

しかし特に変化の激しい現代において自身の成長は不可欠であり、そこで成長し学んだ事をもっと地域に還元し共に発展していけたらと強く思い、4年間の勉強の末、昨年4月ようやく中小企業診断士登録をすることができました。

まだまだ中小企業診断士として未熟者ですが、これからも企業の方々と「共存共栄」し地域経済発展の為に貢献していきたいと考えております。今後とも皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



オフィススプリングA
藤野 恵子

平成26年に福井県中小企業診断士協会に入会させていただきました。藤野恵子です。平成25年10月に診断士登録をしました。

以前は、ほとんど中小企業診断士の方やその仕事に関わる経験がなく、あこがれではあったものの、遠い存在に感じていました。でも、診断士協会への入会により、たくさんの方と出会えたこと、そして診断士の社会的な役割を実感するという貴重な体験を得ることができました。平成26年には独立開業もさせていただき、地域社会に貢献するという使命感を持って取り組んでいきたいと思っています。

まだまだ学ぶべきことは多く、未熟ではありますが、日々研鑽に励む所存です。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。

□10月例会と交流会開催

平成26年10月24日（金）18:30より、福井商工会議所ビルで10月例会を開催し、会員18名が参加しました。福井県中小企業診断士協会では、平成26年度、介護ビジネス研究会を設置し、高齢社会に直面し、今後益々重要性が高まる介護ビジネスについて、その経営を支援していくためのマニュアルづくりに取り組んでいます。

今回の例会では、介護ビジネス研究会の藤野恵子会員から「介護ビジネスにおける課題と中小企業診断士に求められること」をテーマに、介護保険制度や福井県の施設設置状況の紹介とともに、介護事業者の経営に必要とされることや中小企業診断士としてどう支援に取り組んでいくかを説明しました。

また、津田均会長からは介護施設診断に向けた受託事業についても説明が行われ、



今後、診断士協会として介護施設等の診断支援に取り組むことを報告しました。

引き続き参加者による交流会も福井市内で開催し、13名の参加がありました。

□12月オープン例会&交流会報告

平成26年12月17日（水）、地域連携委員会の主催で、「これから伸びる企業の条件」をテーマにオープン例会を福井商工会議所ビルで開催しました。今回の例会では、当協会会員だけでなく、金融機関に勤務する診断士、石川県内の診断士の他、弁理士、税理士、司法書士の皆さん総勢 31



名にご参加を頂きました。例会では3人の講師より「これから伸びる企業の条件」の共通テーマに即した講演を以下の通り行って頂きました。

「伸びる中小企業と知的財産」日本弁理士会北陸

支部副支部長 弁理士 増田恵美氏

「創業を成功に導くポイントについて」福井信用

金庫法人営業課長 中小企業診断士

柳谷修平氏

「人材の育成について」

福井県中小企業診断士協会 中小企業診断士

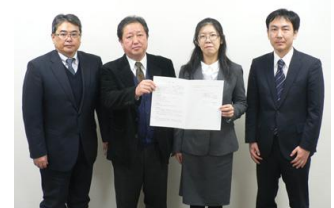
竹内真一氏

（上記講演の詳細につきましては、本協会のホームページをご覧ください。）

□日本弁理士会北陸支部との覚書の締結

県協会の本部にあたる（一社）中小企業診断協会と日本弁理士会（本部）の間で平成25年4月21日に「知的財産を活用した企業経営による産業振興のための協力に関する協定」が締結されており、これを受けて（一社）福井県中小企業診断士協会では、平成26年12月22日に、日本弁理士会北陸支部（金沢市）との間で覚書に調印致しました。

交流やセミナーを通じて、相互の啓蒙を図り、企業支援の質の向上を今後図っていきます。



編集雑記

中小企業診断士はミツバチだと思ってきました。おいしい蜜？を頂いたお礼に、体いっぱい花粉をつけ、花から花へと渡り歩く。運ばれた花粉を無事受粉させて、新たな命へと繋げる。花が増えれば、ミツバチが生き残る環境も同時に良くなっていく。そんなミツバチと診断士をダブらせるなんていうのはきっと私だけでしょう（笑）。昨今、ミツバチの数は激減しているとのことですが、ミツバチは豊かな自然環境の証です。豊かな経済環境の証が診断士なのかどうかはわかりませんが、我々も豊かな経済環境づくりのためにせっせと花粉を運び続けていきたいと思います。（浩）